

緩和ケア病棟

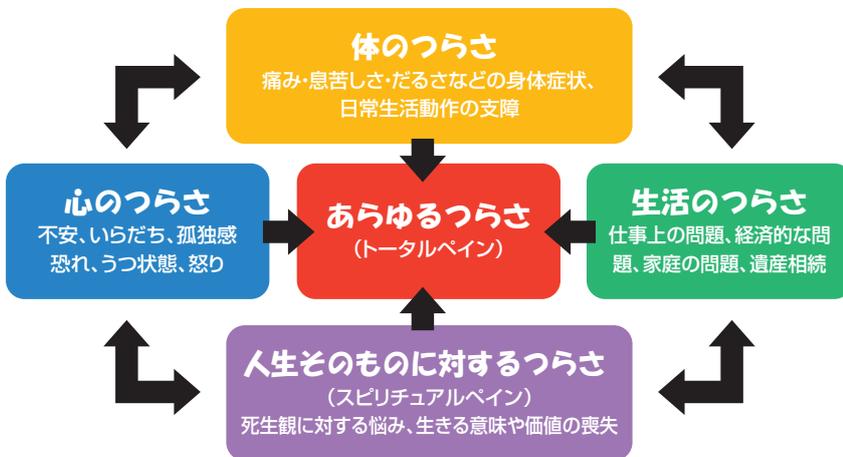


## 「つらさ」に寄り添う 緩和ケア病棟

津島市民病院は急性期病棟だけでなく、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟といった病棟もあり、患者さんの状態に応じた入院治療に対応しています。

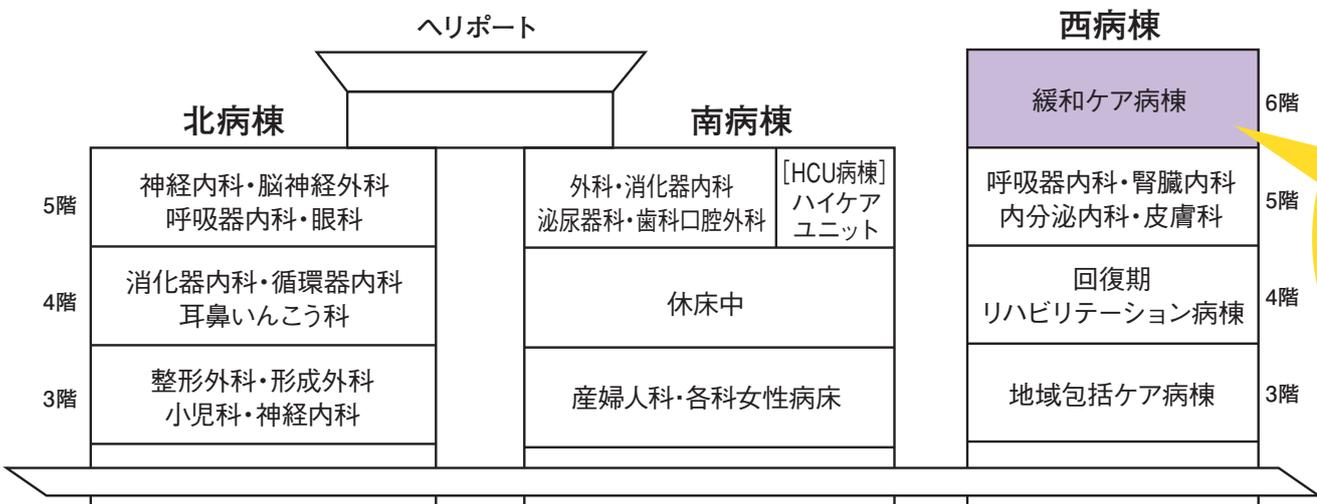
平成30年12月号で急性期病棟、平成31年1月号で回復期リハビリテーション病棟を紹介しましたので、今回は緩和ケア病棟について紹介します。当院の緩和ケア病棟(18床)は西病棟の6階にあり、平成19年1月に承認されてから現在で13年目に入りました。

問合せ 市民病院管理課管理G ☎28-5151(内線2201)



病気よって引き起こされる「つらさ」は、「体のつらさ」だけではなく、「心のつらさ」「生活のつらさ」などがあります。患者さんだけでなくその家族にとっての全てのつらい症状を和らげることを緩和ケアといえます。決して終末期だけに行われる治療ではなく、患者さんがつらいと感じた時に行うケアです。

緩和ケアとは



緩和ケア病棟は  
ここ!

## 緩和ケア病棟とは

緩和ケア病棟は、がんと診断され手術や抗がん剤治療などの積極的治療より緩和ケアがふさわしいと感じている患者さんが入られる病棟です。病気による「いらさ」をできるだけ和らげることを目指す病棟です。患者さんの生活、生命の質を改善することで明日への希望をつなぎ、患者さんとご家族の方が「自分らしく生活していく」ことができよう、医師、看護師だけでなく多職種スタッフが支援しています。

入棟(入院)中は緩和ケア内科の医師が担当医師となりますが、これまでの主治医とも連携していきます。症状が安定したら在宅療養をお勧めしています。

## 入棟(入院)までの流れ

対象となるのは主にがんにより、身体的・精神的な苦痛を持ち、緩和ケアが必要と診断されている方で、患者さんとご家族がともに入棟を希望している方が対象となります。

- ①入棟したいと思ったら、主治医の先生にご相談ください  
他院で治療中の場合は、主治医の先生から緩和ケア内科宛に紹介状を送信(FAX: 0567-28-6653)してもらってください。
- ②緩和ケア外来の予約をお取りします
- ③緩和ケア外来受診  
患者さんが直接来院できない場合は、ご家族の方のみでも可能です。家族のみの場合は、自費(1万円前後)となります。
- ④入棟審査  
市民病院内で審査をし、結果を連絡します。
- ⑤緩和ケア病棟入棟の申し込み後、入棟

退院後は、訪問看護ステーションや地域のクリニックと協力して在宅ケアを受けることができます。

## 緩和ケア病棟の1日

患者さんのその日の体調やご希望にあわせて一日のスケジュールを決めています。基本的な食事の時間が決まっていますが、ゆっくり過ぎていたくことを目指しているため、細かな時間割などはありません。入院中でも、できるだけ普段の生活と変わらない生活を送れるようにしています。



▼ダイニングでのんびりお茶を楽しむことも、ご家族が作った食事を一緒に食べることも可能です。



▲患者さん向けに、毎月2回のお茶会や季節を感じるイベントを開催しています。お茶会で提供されるお菓子は季節感のある手作りのお菓子を提供しています。夏には夏まつり、冬にはクリスマス会を開催します。

## レスパイト入院

レスパイトとは休息・息抜きという意味です。

レスパイト入院は、自宅で療養している患者さんの家族が介護疲れで休息が必要な場合などに利用いただく短期の入院です。当院では2週間のレスパイト入院を受け入れています。利用希望の方は入棟審査後に主治医にご相談いただき、緩和ケア外来に受診してください。

がんは、日本人の死因で最も多い病気です。「緩和ケア」は、がんと診断されたときから行う、様々な苦痛をやわらげるためのケアです。

あなたの大切な方や、あなた自身が「自分らしく生活していく」ために、ぜひご利用ください。気になることがありましたら、まず、地域医療センターへご連絡ください。

## 地域医療センター

☎28-5151(内線2113)

